

EPS工法で素敵なお庭づくりをサポート いつも「ありがとう」と「と」 絆をつなぐ人間企業をめざして

堅昇土建

今年10周年を迎える堅昇土建
(海老名市国分北、見上健一社長、
046・2333・7798、<http://www.kensyo.info>)は、土木工事を
中心に公共工事も手がけ、特に庭
づくりには定評がある。

東日本大震災のわずか2週間後
には重機やトラックを持参し、社
員を引連れ宮城県亘理町ボラン
ティアセンターと協力して瓦礫処
理を行った。また、社員自ら制作し
た絵本を被災地の保育園に寄付す
るなど、支援活動を継続している。
「自分たちの技術が必ず役に立つ
はずとの使命感から、自然と行動
していた」と当時を振り返り、「被
災地の方々から逆に元気ももらい
ました。つながりを大切にしたい」
と語る見上社長の言葉が温かい。
衣食住の中、心となる住まいだけ
から、見知らぬ人にも「素敵なお庭で
すね」と声をかけてもらえるよう
な庭づくりを、専門分野からお手
伝いしたいという想いで発足した
同社。EPS工法を使用した庭づ
くりを提案している。この工法は



EPS工法の施工事例(見た目は完全に重たいブロック塀!?)

コンクリートブロックと違い、芯
材にEPS発泡スチロールを使用
するので加工しやすく、イメージ
に忠実で自由な造形が可能となる
上、強度は従来のコンクリートと
変わらず、耐久性に優れる。軽量な
ので、万が一塀が倒壊しても二次
災害を防止できる、人に優しいブ
ロックである。

自宅建築の際は、庭までなか
か頭も予算も回らないが、庭を特
別な空間と考える社長は、焦らず
にまずは相談してほしいという。
「堅昇」とは、堅実に仕事をこなし、
昇って(成長して)行くという意味
で、計画・施工・アフターサービ
スまで責任を持ってお客様をアシ
スメントする意志をこめる。それを
支えているのが、社長自慢の社員
たち。「何にでも一生懸命で、深い
絆でつながった仲間。今後も顔の
見える仕事にこだわり、夢のある
”人間企業”をめざします」と熱く
語ってくれた。



自慢のスタッフたちと見上社長(右)